

令和2年4月24日14時00分

資料配布 近畿地方整備局

(公益財団法人日本河川協会 同時発表)

令和2年河川功労者表彰の受賞者が決定しました。

～近畿地方整備局直轄管内から2名、2団体が受賞～

長年にわたり樋門操作に従事されるなどの河川功労者に対して、公益財団法人日本河川協会から全国101の個人及び団体に表彰が行なわれます。今年も、近畿地方整備局直轄管内から、2名、2団体が受賞されます。

- 近畿地方整備局直轄管内から受賞されるのは、以下の方々です。(敬称略)
 - ・ 安田 保穂
 - ・ 川合 茂
 - ・ 大江まちづくり住民協議会
 - ・ 大和川市民ネットワーク
- 表彰式については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催いたしません。
- 取材は、以下の「問い合わせ先」にご連絡ください。

※ 参考として、公益財団法人日本河川協会の発表資料を添付しております。

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先> 近畿地方整備局

河川部 河川情報管理官 ひさうち のぶお 久内 伸夫

河川部 水政課 水政課長 しもはら つとむ 下原 力

TEL 06-6942-1141 (代表) 06-6942-0137 (水政課 直通)

公益社団法人 日本河川協会では、昭和24年から河川に対する国民の理解を深めるため、同協会の河川功労者表彰規程に定める個人及び団体について、毎年河川功労者表彰を行っています。

表彰者は、都道府県、国土交通省地方整備局及び河川関係団体等から推薦を行い、日本河川協会の河川功労者表彰審査委員会で審査し、理事会において決定されています。

このたび、近畿地方整備局の直轄管理河川からは、以下の2名と2団体が受賞されることとなりました。

氏名	やすだ やすほ 安田 保穂
職業	—
功績等	昭和60年から長年にわたり、大和川水系大和川不毛田第2樋門の操作員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には暴風雨の中、昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。
表彰規定の 該当条項	第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合
住所	奈良県河合町

氏名	おおえ じゅうみんきょうぎかい 大江まちづくり住民協議会
職業	—
功績等	平成23年に前身である大雲(おおくも)水辺の里づくり研究会を設立して以来、由良川の自然・防災に関するシンポジウムや堤防ウォークイベント等を開催するなど、住民の生活に根ざした活動により、河川愛護や防災意識の醸成に貢献された。(平成30年河川協力団体に指定)
表彰規定の 該当条項	第4号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合
住所	京都府福知山市

氏名	やまがわしみん 大和川市民ネットワーク
職業	—
功績等	平成20年に流域住民と団体が集い交流する場として設立以降、「わたしたちの大和川」講座の開催や、副読本「わたしたちの大和川」改訂・WEB版の作成、「大和川つけかえ史跡探訪ガイドブック」の発行など、大和川をめぐる郷土学習、河川環境教育に貢献された。(平成28年河川協力団体に指定)
表彰規定の該当条項	第4号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合
住所	大阪府堺市

名称	かわい しげる 川合 茂
功績等	河川工学の専門家として顕著な研究成果を上げられるとともに、由良川水系河川整備計画の由良川流域懇談会座長、円山川水系河川整備計画の円山川下流部治水対策協議会の座長を務められるなど、由良川水系及び円山川の治水・利水・環境や危機管理など幅広い分野において、河川の整備の推進に貢献された。
表彰規定の該当条項	第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合
住所	兵庫県神戸市

<公益社団法人 日本河川協会 河川功労者表彰規程(抜粋)>

第2条 表彰は、次の各号に掲げる事項について功績のあった個人又は団体について行う。

- (1) 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与すること。
- (2) 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献すること。
- (3) 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等。
- (4) 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動。
- (5) 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめること。
- (6) 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等による新しい文化の創造。
- (7) 河川や水の分野において国際な活躍又は外国との交流・連携の深化。
- (8) その他本会の発展に顕著な貢献をする等特に表彰が必要と認められた場合。

※令和2年の表彰者の総数は、個人56、団体45、合計101の個人及び団体となっております。

※本件は、公益社団法人日本河川協会が国土交通省の一般紙・専門紙の記者クラブで発表しています。

河川功労者表彰の趣旨・制度に関するお問い合わせはこちら

公益社団法人 日本河川協会 担当:萩原、高木
TEL:03-3238-9771
FAX:03-3288-2426

令和 2 年 4 月 2 4 日
公益社団法人 日本河川協会

令和 2 年河川功労者の決定及び表彰について

令和 2 年河川功労者が決定いたしました。

河川功労者の表彰については、今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、表彰式は開催せず、各推薦者からの伝達等によることといたします。

記

1. 令和 2 年河川功労者表彰について ----- 資料－ 1
2. 令和 2 年河川功労者表彰者名簿 ----- 資料－ 2

【問合せ先】

公益社団法人 日本河川協会
〒102-0083
東京都千代田区麹町 2-6-5
麹町E.C.Kビル 3F
担当：萩原、高木
電話：03-3238-9771
FAX：03-3288-2426

*昨年までの表彰者については、下記ホームページをご参照ください。
http://www.japanriver.or.jp/information/2019_kourousya-2.htm

令和 2 年河川功労者表彰について

1. 公益社団法人 日本河川協会では、昭和 2 4 年から河川に対する国民の理解を深めるため、当協会の河川功労者表彰規程に定める下記事項に該当する個人及び団体について、毎年定時社員総会において河川功労者表彰を行っております。
2. 表彰者は、毎年、都道府県、国土交通省地方整備局等及び河川関係団体等からご推薦いただき、当協会の河川功労者表彰審査委員会で審査し、理事会において決定しています。
3. 令和 2 年の河川功労者は、資料－ 2 のとおりです。
表彰者の総数は、個人 5 6、団体 4 5、合計 1 0 1 の個人及び団体となっております。
4. これにより、令和 2 年までの表彰者は、4,0 3 7 の個人及び団体となります。

記

- 第 1 号 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与し功績があった場合
- 第 2 号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合
- 第 3 号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合
- 第 4 号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合
- 第 5 号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合
- 第 6 号 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合
- 第 7 号 河川や水の分野において国際的な活躍又は外国との交流・連携の深化に功績があった場合
- 第 8 号 本会の発展に顕著な貢献をする等、特に表彰が必要と認められた場合

令和 2 年河川功勞者表彰者名簿

公益社団法人 日本河川協会

令和 2 年河川功勞者表彰総括表

事 項	個 人	団 体	計
第 1 号 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与し功績があった場合	0	2	2
第 2 号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合	29	2	31
第 3 号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合	6	1	7
第 4 号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合	2	38	40
第 5 号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合	17	0	17
第 6 号 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合	0	2	2
第 7 号 河川や水の分野において国際的な活躍又は外国との交流・連携の深化に功績があった場合	0	0	0
第 8 号 本会の発展に顕著な貢献をする等、特に表彰が必要と認められた場合	2	0	2
合 計	56	45	101

令和2年河川功労者表彰者名簿

第1号 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与し功績があった場合

(団体2)

名 称	功 績 等	住 所
公益財団法人 新潟市海洋河川文化財団	平成2年から新潟市水族館の管理運営を行い、信濃川の多様な陸水環境と魚類を10基の水槽で再現し、来館者へ河川文化について啓発するとともに、川の生き物観察会や希少淡水魚・両生類等の調査を行うなど、河川文化の発展に貢献された。	新潟県新潟市
特定非営利活動法人 大川未来塾	平成16年に設立以来、筑後川下流域を中心に浮遊ゴミの回収や調査など河川の自然保護に取り組むとともに、中学生と協働調査による「筑後川七川日記」や写真集の発刊、デ・レイケ導流堤等歴史的遺構の調査保存活動を行うなど、河川文化の発展、地域活性化に貢献された。(平成26年河川協力団体に指定)	福岡県大川市

第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合

(個人29)

氏 名	職 業	功 績 等	住 所
あ ぼ ち はる 阿 保 千 晴	農 業	昭和54年から長年にわたり、岩木川水系平川平川第五排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	青森県弘前市
さ さ もり りょう いち 笹 森 良 一	地方公務員	昭和54年から長年にわたり、岩木川水系平川平川第六排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	青森県弘前市
た て だ りょう じ 館 田 良 治	農 業	昭和55年から長年にわたり、岩木川水系土淵川土淵川第一排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	青森県弘前市
す ず き たか お 鈴 木 慶 雄	農 業	昭和53年から長年にわたり、北上川水系旧北上川仁衛門排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	宮城県石巻市
す ず き とし じ 鈴 木 敏 治	会 社 員	昭和54年から長年にわたり、阿武隈川水系阿武隈川上台排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	宮城県角田市
し ょ う じ い ち ろう 東 海 林 一 郎	農 業	昭和54年から長年にわたり、雄物川水系雄物川鹿野戸第二排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	秋田県秋田市
た け だ こう ぞう 武 田 宏 藏	農 業	昭和53年から長年にわたり、最上川水系最上川小塩排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	山形県中山町
な か もとしょう た ろう 仲 本 昭 太 郎	会 社 員	昭和53年から長年にわたり、阿武隈川水系阿武隈川八丁目樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	福島県郡山市
ま しば ひさ とみ 真 柴 久 臣	自 営 業	昭和53年から長年にわたり、阿武隈川水系広瀬川中町樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	福島県伊達市
えん どう と き お 遠 藤 登 喜 男	—	昭和55年から長年にわたり、阿武隈川水系阿武隈川本宮第26樋管、本宮第27樋管及び本宮第28樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	福島県本宮市
た け だ とし かず 武 田 利 和	自 営 業	昭和55年から長年にわたり、阿武隈川水系阿武隈川本宮第31樋管、本宮第32樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	福島県本宮市
ひ ら の しげ みつ 平 野 茂 光	農 業	平成14年から長年にわたり、真亀川水系真亀川に設置されている2箇所の水門・排水施設及び樋管の点検整備を定期的に行い、かつ洪水や台風時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	千葉県九十九里町
つ る まき ひで き 弦 卷 英 樹	農 業	平成6年から長年にわたり、信濃川左支川西川の西川排水機場及び西川水門の操作員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	新潟県新潟市

氏名	職業	功績等	住所
やま だ のぶ お 山 田 信 男	農 業	平成6年から長年にわたり、信濃川水系信濃川鶴島樋管の水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	新潟県十日町市
くわ はら まさ よし 桑 原 正 良	農 業	平成6年から長年にわたり、信濃川水系魚野川清水川樋管の水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	新潟県魚沼市
もり やま りょう へい 森 山 量 平	—	平成6年から長年にわたり、信濃川水系魚野川品袋樋管の水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	新潟県魚沼市
まつ おか のり かず 松 岡 則 一	—	平成11年から長年にわたり、木曽川水系杭瀬川に排水する笠木排水機場の運転責任者として、当該機場の運転管理を担当し、水害に脆弱な大垣市西北部地域の浸水被害の防止・軽減に貢献された。	岐阜県大垣市
はし もと まさ しげ 橋 本 正 重	団 体 職 員	平成10年から長年にわたり、木曽川水系揖斐川高須輪中排水機場及び大江排水機場の操作員として、施設の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	岐阜県海津市
ふる かわ かず お 古 川 和 男	農 業	平成11年から長年にわたり、木曽川水系揖斐川山崎南谷ひ管の操作員として、施設の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	岐阜県海津市
やま うち たけ はる 山 内 武 治	—	平成10年から長年にわたり、木曽川水系揖斐川高須輪中排水機場及び大江排水機場の操作員として、施設の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	岐阜県海津市
み しな よし かず 三 品 芳 和	自 営 業	昭和63年から長年にわたり、木曽川水系木曽川西谷川排水樋管の操作員として、施設の操作及び管理に従事し、定期的に適切な点検整備を行い、かつ増水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	岐阜県坂祝町
み しな き し お 三 品 喜 志 雄	—	平成6年から長年にわたり、木曽川水系木曽川池田排水樋管の操作員として、施設の操作及び管理に従事し、定期的に適切な点検整備を行い、かつ増水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	岐阜県坂祝町
やま だ まさ ひろ 山 田 正 宏	—	平成6年から長年にわたり、矢作川水系占部川上流遊水地の排水機操作員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	愛知県岡崎市
にし やま こう へい 西 山 甲 平	—	淀川水系木津川支川前深瀬川に建設される川上ダムの「川上ダム建設促進期成同盟会」の会長として、12年間にわたり、川上ダムの早期着工及び建設促進に向けて要望活動等に尽力されダム事業の推進に貢献された。	三重県伊賀市
やす だ やす ほ 安 田 保 穂	—	昭和60年から長年にわたり、大和川水系大和川不毛田第2樋門の操作員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には暴風雨の中昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	奈良県河合町
うえ はら おさむ 上 原 治	農 業	昭和40年から長年にわたり、渡川水系中筋川の清水樋門操作員として施設の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	高知県四万十市
うえ むら きょう いち 上 村 恭 一	会 社 顧 問	九州の河川事業において、遊水地の導入や河川堤防の軟弱地盤対策工の確立、柔構造樋門の導入等に寄与されるとともに、平成12年より九州河川技術伝承会に参画し、技術を次世代へ伝承し豪雨災害時の対応に活かされる等、河川技術の発展に貢献された。	福岡県福岡市
の と すすむ 納 戸 進	農 業	平成9年から長年にわたり、筑後川水系田手川三ツ荒子樋管の操作員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	福岡県久留米市
おお つば おさむ 大 坪 修	農 業	昭和48年から長年にわたり、福所江水系福所江干拓排水樋管の操作員、昭和59年から久保田第二排水機場及び干拓樋管上二丁井樋の操作員として、施設の定期的な点検を行い、洪水時には、昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	佐賀県佐賀市

(団体2)

名称	功績等	住所
千歳川治水対策促進連合期成会	昭和62年設立以来、千歳川治水対策の促進にあたり、地域の意見をとりまとめ継続的に治水対策の要望活動を行うとともに、研修会の開催や遊水地群整備事業における国と地域の調整を行うなど、河川の整備の促進、地域の安全・安心に貢献された。	北海道恵庭市
特定非営利活動法人 日本ハンザキ研究所	オオサンショウウオの研究機関として、大阪府河川周辺地域の環境保全等審議会に参画し、安威川ダム建設事業において、安威川上流域に生息するオオサンショウウオの生息環境が損なわれないよう、指導・助言等保全対策に取り組み、水源地域における水循環の健全化及び生態系の保全に貢献された。	兵庫県朝来市

第3号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合

(個人6)

氏名	職業	功績等	住所
やす だ ひと し 安 田 仁 至	会社員	平成5年岐阜市鏡島水防団に入団以来、平成25年に副団長、平成31年に団長として、水防活動に従事し、水害から地域住民の生命・財産の被害の防止に貢献されるとともに、地域住民に対して水害の恐ろしさと水防活動の重要性を伝える啓発活動に貢献された。	岐阜県岐阜市
おく だ きよ やす 奥 田 清 保	自営業	平成8年木曾川右岸地帯水防事務組合笠松水防団に入団以来、平成26年副団長、平成31年団長として、団員の指導育成及び治水事業の推進に尽力されるとともに、令和元年7月の梅雨前線による出水の際には、管内の巡視活動など、災害の防止・軽減に貢献された。	岐阜県笠松町
うえ だ たか お 生 植 田 剛 生	自営業	平成8年淀川左岸水防事務組合水防団に入団以来、平成22年分団長として、水災防御の第一線で活躍し、団員の指導育成と水防組織の充実強化に努め、地域住民の生命と財産の安全確保に貢献された。	大阪府大阪市
はし もと いつ む 橋 本 吾 睦	団体役員	昭和55年淀川右岸水防事務組合水防団芥川水防区に入団以来、平成11年より分団長として、水災防御の第一線で活躍し、団員の指導育成と組織の充実強化に努め、地域住民の生命と財産の安全確保に貢献された。	大阪府高槻市
うえ だ やす お 上 田 康 雄	—	平成7年大和川右岸水防事務組合柏原分団に入団以来、平成26年分団長として、水災防御の第一線で活躍し、地域住民の安全を守る活動に貢献されるとともに、分団長就任後は、卓越して指導力をもって分団員を統率し、特に若年団員の育成にも貢献された。	大阪府柏原市
たけ いち ゆたか 武 市 寛	—	平成10年から防災エキスパート、平成19年から水防専門家として、吉野川及び那賀川水系における関係市町の消防団員等へ水防工法の施工技術の指導を行うなど、水防知識、工法及び技能の伝承に貢献された。	徳島県阿波市

(団体1)

名称	功績等	住所
川 越 市 水 防 団	昭和36年設立以降、多年にわたり水防に従事し水防体制の強化を図ってきた。令和元年の台風第19号による洪水により、荒川水系越辺川の堤防が決壊したが、地域住民を的確な避難誘導等により無事避難させるなど災害の軽減に貢献された。	埼玉県川越市

第4号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合

(個人2)

氏名	職業	功績等	住所
お じま しょう いち 尾 嶋 章 市	会社役員	平成8年から宇都宮市中心部を流れる一級河川田川において、田川フラワーロード雀宮の代表として、清掃・除草・コスモスを河川敷に定植するなどの美化活動を行うほか、宇都宮市河川愛護会役員として市民の河川環境意識の啓発・向上等に貢献された。	栃木県宇都宮市
かけ がわ ゆう こ 掛 川 優 子	群馬県自然保護指導員兼県内希少野生動植物保護監視員	平成22年から利根川水系神流川の「かな川水辺の楽校運営協議会」会長として、地域の小学生や住民などを対象に、自然観察・保護、環境調査・美化、水辺の保全・活用、環境教育・学習、自然体験等、様々な活動でのコーディネーターとして地域全体の河川環境の保全に貢献された。	群馬県藤岡市

(団体38)

名称	功績等	住所
三 春 町 立 中 妻 小 学 校	平成17年度から地元の自然について調査を行い、三春ダムの「さくら湖自然観察フォーラム」に参加、学習した内容を発表し、三春町立中郷小学校と共に、発表を通じて地域の自然環境保全の重要性について呼びかけ、啓発を行うなど、河川のアプローチ活動に貢献された。	福島県三春町
三 春 町 立 中 郷 小 学 校	平成11年度から地元の自然について調査を行い、平成13年から三春ダム「さくら湖自然観察フォーラム」に参加、学習した内容を発表し、三春町立中妻小学校と共に、発表を通じ、地域の自然環境保全の重要性について呼びかけ、啓発を行うなど、河川のアプローチ活動に貢献された。	福島県三春町
だ い しん 大 真 区	昭和30年に河川愛護会を設立以来、大真区内を流れている涸沼川において毎年河川愛護月間頃に河川敷の除草、雑木、篠、竹、ゴミなどの除去、河川美化活動を続け河川環境の保全に貢献された。	茨城県城里町

名 称	功 績 等	住 所
あ ゆ み 会	平成8年から「地域をつなぐ～元荒川のシバザクラ～」を標語に、越谷市内の元荒川右岸において、シバザクラ植栽と清掃活動、遊歩道の花壇の手入れを地元自治会や小学校等と連携しながら行い、元荒川の美化に貢献された。	埼玉県越谷市
だいせいせん 湧水を復元し、 周辺の自然環境を守る会	坂川水系の水源である大清水の湧水保全及び美化活動により、ホテルが自生できるような自然環境の復元に努めるとともに、水車やポンプでの水循環などで湧水の維持管理、清掃活動やホテルの観賞会により河川環境の保全に貢献された。	千葉県松戸市
せ また 瀬 又 清 流 会	村田川の美化活動を行うとともに、4月から5月に家庭で不要となった鯉のぼり100余りを川渡しで掲げる活動を20年以上行い、子どもの日には鮎の稚魚の放流会を行うなど、住民が川に親しむ機会を創り出す河川愛護活動に貢献された。	千葉県市原市
和泉川東山の水辺愛護会	平成9年に設立以来、和泉川において、清掃、草刈りを月1回、トイレ巡回清掃を毎日継続して行い、市民が快適に水辺とふれあい親しむ活動を行うことにより、河川環境美化と河川愛護意識の醸成に貢献された。	神奈川県横浜市
新潟市立小瀬小学校	平成21年から新潟市西区及び西蒲区共催の「西川流域子ども環境サミット」に毎年参加し、川をテーマとした環境学習に継続的に取り組んでいる。また、環境学習を通じて地域の川について関心を高め、児童は地域が行う河川の清掃活動に参加するなど、河川環境の保全に貢献された。	新潟県新潟市
新潟市立笠木小学校	平成26年から新潟市西区及び西蒲区共催の「西川流域子ども環境サミット」に毎年参加し、川をテーマとした環境学習に継続的に取り組んでいる。また、環境学習を通じて地域の川について関心を高め、児童は地域が行う河川の清掃活動に参加するなど、河川環境の保全に貢献された。	新潟県新潟市
新潟市立曾根小学校	平成21年から新潟市西区及び西蒲区共催の「西川流域子ども環境サミット」に毎年参加し、川をテーマとした環境学習に継続的に取り組んでいる。また、環境学習を通じて地域の川について関心を高め、児童は地域が行う河川の清掃活動に参加するなど、河川環境の保全に貢献された。	新潟県新潟市
新潟市立鑑郷小学校	平成21年から新潟市西区及び西蒲区共催の「西川流域子ども環境サミット」に毎年参加し、川をテーマとした環境学習に継続的に取り組んでいる。また、環境学習を通じて地域の川について関心を高め、児童は地域が行う河川の清掃活動に参加するなど、河川環境の保全に貢献された。	新潟県新潟市
糸魚川市立大野小学校	平成12年度から総合学習の中で、一級河川姫川における川をテーマとした環境学習及びホテルの生態調査を継続して行い、学習内容を発表会などで発表するとともに、地域住民に河川美化を呼びかけるなど、河川愛護及び自然環境の保全に貢献された。	新潟県糸魚川市
しみずこうきょ 清水溝渠・地蔵川をきれいにする会	昭和46年に設立以降、一級河川の女鳥羽川に流入する普通河川、清水溝渠・地蔵川において、流域住民が年2回（春・秋）の河川清掃、草刈り等の活動に取り組むなど、河川愛護・環境美化活動に貢献された。	長野県松本市
諏訪市老人クラブ連合会	長年にわたり、諏訪市の各単位老人クラブをまとめ、それぞれのクラブの会員を募って、諏訪湖周辺の自然保護に取り組み、諏訪湖畔の清掃、土手の水仙球根植えなど諏訪湖周辺の美化に貢献された。	長野県須訪市
ね ず み 川 愛 護 会	平成6年設立以来、ねずみ川の小町屋地区内の管理道路と河床の草刈りやゴミ拾い、特にアレチウリ撲滅を目指し、駆除に尽力されるとともに、区民、児童を対象としたマスキングを実施するなど、河川と触れ合う活動や河川愛護意識の醸成に貢献された。	長野県駒ヶ根市
木戸河川愛護会	昭和35年に設立され、長年にわたり地区内の一級河川潮沢川等について、河川敷内外の清掃、草刈り、ゴミ拾い等の活動を行い、地域住民の河川愛護意識の高揚、河川環境の保全に貢献された。	長野県安曇野市
こう たか まち 幸高町河川愛護会	平成2年に設立され、長年にわたり一級河川鮎川において、河川敷内外の清掃、草刈り及びアレチウリ駆除等の活動を実施し、河川環境美化に貢献するとともに、地域住民の河川愛護意識の高揚に貢献された。	長野県須坂市
みなみ あい き 南相木村加佐区	長年にわたり加佐区内を流れる一級河川南相木川、栗生川において、地域住民主体で草刈り、支障木伐採等の活動をしており、住民の河川愛護意識の醸成、河川美化活動に貢献された。	長野県南相木村
みなみ あい き 南相木村栗生川区	長年にわたり栗生川区内を流れる一級河川栗生川において、地域住民主体で草刈り、支障木伐採等の美化活動を積極的に実施しており、住民の河川愛護意識の醸成、河川美化活動に貢献された。	長野県南相木村
がん それ む ぎ くら 雁曾礼・武儀倉自治会	昭和59年に設立以降、関市の長良川支川武儀倉川において、地域住民約50人が積極的に河川の草刈りやゴミ拾いなどの活動に継続して取り組み、長年にわたり地域の河川愛護活動と環境美化に貢献された。	岐阜県関市
中島町本町自治会	昭和45年から浜松市馬込川の堤防の草刈り・清掃を実施し、堤防は美しく保たれ人々の憩いの場として親しまれているなど、長年にわたり河川美化の推進に貢献された。	静岡県浜松市
こじょう 鯨城・堀川と生活を考える会	平成17年の設立以来、名古屋の中心部を流れる堀川及び新堀川などの河川周辺の清掃、水質調査、市民への啓発などの活動を精力的に行い、河川愛護・河川環境美化に貢献された。	愛知県名古屋市
しづみなみ 志津南環境美化ボランティアの会	平成25年の設立以来、琵琶湖に流入する伯母川及び同洪水調節池における草刈り、浚渫、ゴミ拾いや芝桜の植え付けを実施するとともに、地元小学校における川をテーマとした学習を支援するなど、河川愛護活動や河川環境の保全に貢献された。	滋賀県草津市

名 称	功 績 等	住 所
大江まちづくり住民協議会	平成23年に前身である大雲水辺の里づくり研究会を設立して以来、由良川の自然・防災に関するシンポジウムや堤防ウォークイベント等を開催するなど、住民の生活に根ざした活動により、河川愛護や防災意識の醸成に貢献された。(平成30年河川協力団体に指定)	京 都 府 福 知 山 市
大和川市民ネットワーク	平成20年に流域住民と団体が集い交流する場として設立以降、「わたしたちの大和川」講座の開催や、副読本「わたしたちの大和川」改訂・WEB版の作成、「大和川つけかえの史跡探訪ガイドブック」の発行など、大和川をめぐる郷土学習、河川環境教育に貢献された。(平成28年河川協力団体に指定)	大 阪 府 堺 市
リフレッシュリバー・くまとり推進会議	平成13年に設立以来、熊取町を流れる見出川・住吉川・雨山川において、毎年地元住民や企業と協力し清掃活動を実施し、現在までに2,000人以上が参加するなど、地域の人々や子供たちの河川愛護意識の醸成や河川の自然保護に貢献された。	大 阪 府 熊 取 町
安来市立十神小学校	平成18年度から中海流入河川調査に参加し、川をテーマにした環境学習に力を入れ、学習内容を発表会で発表し、学習のまとめとしてポスターを作り掲示するとともに、地域の清掃活動を行うなど、河川愛護意識の醸成に貢献された。	島 根 県 安 来 市
松江市立大谷小学校	平成16年度から宍道湖流入河川調査に参加し、平成29年からはホテルバスのガイドを務めるなど、川をテーマにした環境学習に力を入れ、学習内容を発表会で発表し、児童や地域住民に川をきれいにする呼びかけを行うなど、河川愛護意識の醸成に貢献された。	島 根 県 松 江 市
岡山市立千種小学校	国の天然記念物に指定され絶滅危惧種にも指定されているアユモドキを、平成22年度より人工繁殖・放流し、種の保護に取り組むとともに、活動を積極的に地域に発信し、京都府の小学校(淀川水系の生息地)とも交流するなど、河川環境の保護・保全に貢献された。	岡 山 県 岡 山 市
やた 箭田地区まちづくり推進協議会	平成12年の設立以降、毎月、高梁川水系小田川河川敷の清掃を行っており、また、平成30年7月豪雨による被災後は、防災・環境整備を目的に子供から大人まで幅広い年齢層による、雑木繁茂を食い止める河川敷ウォーキング、広場づくりを実施するなど、河川環境の保全、河川愛護活動に貢献された。	岡 山 県 倉 敷 市
みのみ 水呑学区老人クラブ連合会	平成12年度から、河川愛護月間行事として開催される「芦田川一斉清掃」に積極的に参加し、毎年約300人から700人による清掃・美化活動を実施など、河川愛護活動に貢献された。	広 島 県 福 山 市
あめんぼ 河川協力団体AMEMBO	平成18年に設立以来、吉野川において清掃活動、河川巡視活動、自然体験学習(カヤック、カヌー)等を実施し、河川愛護活動及び河川環境学習並びに「日本一のどんと焼き」運営で地域の活性化に貢献された。	徳 島 県 美 馬 市
新居浜ライオンズクラブ	平成14年度から愛リバー・サポーター制度に登録し、二級河川東川において年3回程度、河川美化活動に取り組み、多くの市民の憩いの場となるなど、東川の美しい景観の維持・河川環境の保全に貢献された。	愛 媛 県 新 居 浜 市
れんじょうじがわ 蓮乗寺川をきれいにしたい会	平成14年度から愛リバー・サポーター制度に登録し、二級河川蓮乗寺川及び不老川の河川敷の除草や清掃など、河川美化活動に取り組み、流域住民の美化意識が高まりゴミの不法投棄も減少するなど、良好な河川環境の保全に貢献された。	愛 媛 県 愛 南 町
かみさいごうがわ さとがわ 上西郷川日本一の郷川をめざす会	上西郷川の再生に向けた地域の取り組みを通じ平成21年に設立、流域児童・住民による環境学習や清掃、川遊び、イベントの開催等の活動を通じて、「上西郷川のファン」を増やし、住民による河川環境の保全に貢献された。	福 岡 県 福 津 市
特定非営利活動法人 ながさき千本桜・公益財団法人 日本花の会 長崎支部	平成13年に設立され、浦上川の桜回廊の維持管理を長年にわたり実施し、同活動は、地域の企業や団体を巻き込み、地域の活性化、河川環境の保全に貢献された。	長 崎 県 長 崎 市
じょうせい 城西校区青少年健全育成協議会	平成7年から毎年二級河川坪井川水系井芹川クリーン作戦を実施し、地元住民及び小中高校生とともに河川敷の清掃活動を通じて、子供たちや地域住民の自然環境への意識高揚を図るなど、河川美化や河川愛護活動に貢献された。	熊 本 県 熊 本 市
特定非営利活動法人 レスキュー・サポート九州	平成11年に設立以来、自然環境と調和したまちづくりの推進や地域防災力を高める活動を行っており、山国川流域で地域住民や学校を対象とした学習会を継続的に実施するなど、防災減災、河川環境の保全に貢献された。(平成28年2月河川協力団体に指定)	大 分 県 中 津 市

第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合

(個人17)

氏 名	職 業	功 績 等	住 所
かがやせいいち 加賀屋誠一	北海道大学 名誉教授	国土計画の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、十勝川流域委員会委員長、石狩川における遊水地事業監理委員会委員長等を務められ、河川整備計画の策定など河川の整備の推進に貢献された。	北 海 道 江 別 市
いしいちまたろう 石井千万太郎	元秋田大学 准教授	水理・水工学の専門家として顕著な研究成果を上げられるとともに、一級河川子吉川の河川整備委員会委員、子吉川水系河川整備学識者懇談会の委員を務め、河川整備計画の策定に尽力され、また「リバーカウンセラー」や「リバードクター」を歴任し、河川整備の推進に貢献された。	秋 田 県 秋 田 市

氏名	職業	功績等	住所
しば 柴 田 ひろ 洋 お 雄	山形大学 名誉教授	経済学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、最上川水系流域委員会委員、東北地方整備局事業評価監視委員会委員、同委員長を務められ、また、平成13年に設立された「美しい山形・最上川フォーラム」の会長として、水辺の健康診断や「スボGOM」など様々な活動を実施して河川の整備、河川環境の保全に貢献された。(同会は平成26年河川協力団体指定)	山形県山形市
むし 虫 あけ 明 かつ み 臣	東京大学名誉教授 福島大学名誉教授	水文・水資源工学・流域総合マネジメントの専門家として顕著な研究成果を上げられるとともに、社会資本整備審議会河川分科会委員として河川整備基本方針の策定や国土審議会委員として水資源開発基本計画の策定に貢献され、また、関東地方の河川整備計画の有識者会議委員やリバーカウンセラーとして指導や助言をされるなど、河川行政及び河川の整備の推進に貢献された。	千葉県流山市
やす 安 だ 田 すすむ 進	東京電機大学 名誉教授	地盤工学の専門家として顕著な研究成果を上げられるとともに、2019年の台風19号洪水や2015の関東東北豪雨による堤防復旧に際して、堤防調査委員会の委員長を務めた。また、2011の東北地方太平洋沖地震においても、地震・地盤工学の観点から技術指導や助言をされるなど河川の整備の推進に貢献された。	東京都狛江市
まる 丸 い 井 ひで あき 明	新潟大学 名誉教授	自然災害科学・防災学の専門家として顕著な研究成果を上げられるとともに、平成23年の新潟・福島豪雨水害を受けての治水方策に関する懇談会委員、信濃川水系流域委員会委員長等として信濃川水系河川整備計画の策定・変更に尽力されるなど、防災及び河川の整備の推進に貢献された。	新潟県新潟市
いた い 板 たか ひこ 隆 彦	静岡淡水魚研究会 会長	生物(魚類)の専門家として顕著な研究成果を上げられるとともに、安倍川水系流域委員会、大井川水系流域委員会等の委員を歴任し、河川整備計画の策定、河川工事による生物生産環境の保全やモニタリングに関して指導・助言をするなど、河川の整備、河川環境の保全に貢献された。	静岡県静岡市
まつ お 松 なお き 直 規	中部大学顧問 (前工学部長)	環境水理学、河川工学の専門家として顕著な研究成果を上げられるとともに、長良川河口堰調査委員会等の委員、三重河川流域委員会、愛知県及び三重県河川整備計画流域委員会の委員長、木曾川水系流域委員会副委員長として河川整備計画の策定や変更に寄与されたほか、中部地方ダム等管理フォローアップ委員会委員を務めるなど、河川の整備、河川環境の保全に貢献された。	愛知県名古屋市
まえ だ 前 き し お 喜 四 雄	奈良教育大学 名誉教授	哺乳類の専門家として顕著な研究成果を上げられるとともに、設楽ダム環境検討委員会等の委員として、環境影響評価書等のとりまとめ及びダム工事による環境配慮事項等の検討等に関して指導・助言をするなど、ダム建設事業に関する環境保全等に貢献された。	京都府笠置町
たに だ 谷 かず み 一 三	大阪府立大学 名誉教授	河川の生態学の専門家として顕著な研究成果を上げられるとともに、河川環境に関する政策レビュー委員会、多自然川づくりレビュー委員会、社会資本整備審議会河川分科会小委員会の委員等を務められ、河川やダムの環境保全、河川の整備の推進に貢献された。また、日本ストックホルム青少年水大賞の審査部会長として、高校生の研究にも助言等育成に努められている。	大阪府堺市
かわ い 川 しげる 茂	舞鶴工業高等専門学校 名誉教授	河川工学の専門家として顕著な研究成果を上げられるとともに、由良川水系河川整備計画の由良川流域懇談会会長、円山川水系河川整備計画の円山川下流部治水対策協議会の座長を務められるなど、由良川水系及び円山川の治水・利水・環境や危機管理など幅広い分野において、河川の整備の推進に貢献された。	兵庫県神戸市
むら 村 かみ やす よし 上 恭 祥	元 広島県 水産試験場 長	魚類の専門家として顕著な研究成果を上げられるとともに、太田川・小瀬川のアユの生態調査など自然環境の豊富な知見をもとに、太田川河川整備懇談会・小瀬川河川整備懇談会の委員を務められ、魚類の生活域の確保・増加方策への的確な指導・助言により、河川環境の保全、河川の整備の推進に貢献された。	広島県広島市
せき 関 た ろう 太 郎	広島大学 名誉教授	植物の専門家として顕著な研究成果を上げられるとともに、芦田川、太田川、小瀬川、江の川の植物の生態調査など自然環境の豊富な知見をもとに、4水系の河川整備懇談会委員を務められ、河川水辺の国勢調査アドバイザーとして指導・助言を行うなど、河川環境の保全、河川整備の推進に貢献された。	広島県廿日市市
かね こ 子 ゆき おみ 之 史	香川大学 名誉教授	哺乳類の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、土器川流域学識者会議の委員として、生物学の観点から土器川水系河川整備計画の策定に寄与され、また、河川・溪流環境アドバイザーとして、流域の河川環境の保全に貢献された。	香川県坂出市
だ 駄 た い ただし 田 井 正	久留米大学 名誉教授	経済学の専門家として顕著な研究成果を上げられるとともに、筑後川水系河川整備基本方針検討小委員会、筑後川水系流域委員会、筑後川学識者懇談会及び矢部川学識者懇談会の委員を歴任し、経済学の分野から提言・助言を行うなど河川の整備の推進に貢献された。	福岡県久留米市
わた なべ くに とし 渡 邊 訓 甫	佐賀大学 名誉教授	河川工学の専門家として顕著な研究成果を上げられるとともに、嘉瀬川水系、六角川水系、松浦川水系の各学識者懇談会の委員・委員長として河川整備計画策定や佐賀平野大規模浸水危機管理対策検討等、治水・利水・環境など幅広い分野において河川の整備の推進に貢献をされた。	佐賀県佐賀市
ひき だ 正 田 まこと 誠	鹿児島工業高等専門学校 名誉教授	水工学の専門家として顕著な研究成果を上げられるとともに、肝属川水系学識者懇談会の委員長を務められるなど、肝属川水系の河川整備計画策定や水環境改善など、河川の整備の推進に貢献をされた。	鹿児島県霧島市

第6号 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合

(団体2)

名称	功績等	住所
胆沢平野土地改良区	胆沢ダム水源地活性化協議会の構成団体として、「水土里の回廊」などのイベントを開催、胆沢ダム及び水資源の大切さを地域に浸透させ、さらに子供たちの様々な体験学習の機会をつくるなど、ダムを利用した地域活性化に貢献された。	岩手県奥州市
N P O 法人 信濃川大河津資料館友の会	信濃川や大河津分水路の恵みを受用する地域を対象に、信濃川や大河津分水路に関する調査・研究や情報交換を行うことを目的に平成14年に設立、平成23年にNPO化し、各種講座で啓発活動を行うなど河川を利用した新しい活動を創造し、地域の活性化に貢献された。(平成27年に河川協力団体指定)	新潟県燕市

第8号 本会の発展に顕著な貢献をする等、特に表彰が必要と認められた場合

(個人2)

氏名	職業	功績等	住所
こむろ ひさこ 小室 広佐子	東京国際大学 副学長	平成16年に日本河川協会の理事に就任以来、15年間にわたり、社会情報学の学識者として水害など災害対策の研究や中央防災会議委員としての見識に基づき、多くの有意義な意見や提案を行うなど、協会の適切な運営及び発展に貢献された。	東京都渋谷区
よし やま とも ひこ 霊山 智彦	ジャーナリスト	平成12年日本河川協会の理事に就任以来、18年間にわたり、ジャーナリストの立場から多くの有意義な意見や提案を行われるなど、協会の適切な運営及び発展に貢献された。また、月刊誌『河川』の編集委員として、社会に求められる「河川」の発行及び知識の普及・発信に貢献された。	東京都練馬区